

平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 日本マイクロニクス  
 コード番号 6871 URL <http://www.mjc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 正義  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 齋藤 太  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 0422-21-2665

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第1四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	8,035	101.1	1,130	—	1,291	—	1,016	—
25年9月期第1四半期	3,995	△40.7	△448	—	△431	—	△429	—

(注) 包括利益 26年9月期第1四半期 1,378百万円 (—%) 25年9月期第1四半期 △460百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第1四半期	53.52	52.40
25年9月期第1四半期	△22.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第1四半期	31,762	15,285	44.6
25年9月期	29,321	13,943	44.3

(参考) 自己資本 26年9月期第1四半期 14,171百万円 25年9月期 12,982百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,500	69.8	1,500	—	1,600	—	1,200	—	63.17
通期	25,000	22.6	2,300	64.5	2,350	54.2	1,750	59.0	92.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 業績予想の修正につきましては、本日(平成26年2月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年9月期1Q	20,012,658 株	25年9月期	20,012,658 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年9月期1Q	960,472 株	25年9月期	1,021,752 株
----------	-----------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期1Q	18,995,565 株	25年9月期1Q	18,991,066 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、本日(平成26年2月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、停滞が続いていた欧州の景気持ち直しにより、先進国を主体とした回復が見られましたが、新興国の経済成長の鈍化や欧州債務不安の再燃等、景気先行き懸念も残りました。一方、日本経済は政府の政策等により、堅調に推移いたしました。

半導体市場においては、スマートフォンやタブレット端末向け需要が、短期的な変動をしつつも概ね良好で、特にDRAMにおいては、一部大手メーカーの供給問題により需給が引き締まり、生産は例年に比べ活発に推移いたしました。また、微細化に向けた設備投資が積極的に進められました。

一方、FPD市場は、4K対応液晶テレビの投入に伴う新品種パネルの量産開始がありましたが、全般的にはテレビの販売不振から液晶大型パネルの生産調整が継続し、設備投資も需要の不透明感が影響したため、限定的な投資となりました。

このような状況の下、当社グループは、事業構造改革を完結させ、“継続的収益を生む体質となる”ため、売上増加と利益確保、継続的原価低減、効果的投資の実行等に取組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高8,035百万円（前年同期比101.1%増）、営業利益1,130百万円（前年同期は448百万円の営業損失）、経常利益1,291百万円（前年同期は431百万円の経常損失）、四半期純利益1,016百万円（前年同期は429百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### プローブカード事業

プローブカードは、主にスマートフォンやタブレット端末向けモバイルDRAM及びNAND用MEMS型アドバンスドプローブカードの需要が好調で、高水準な受注・売上の計上となりました。利益面におきましては、製品構成比におけるリピート品の増加と、想定していた為替レートの対ドル及び対ウォン円安推移が、売上総利益率を押し上げました。

この結果、売上高は6,414百万円（前年同期比82.4%増）、セグメント利益は1,412百万円（前年同期比669.9%増）となりました。

#### 装置事業

LCD検査装置は、パネルメーカーの設備投資が限定的に行われたことから、受注・売上ともに低水準となりましたが、半導体検査装置におきましては、メモリメーカーの設備投資が活発化し、BISTテストの需要が堅調に推移いたしました。プローブユニットは、4K2Kパネルの需要増を受けて好調でした。

この結果、売上高は1,621百万円（前年同期比238.8%増）、セグメント利益は175百万円（前年同期は275百万円のセグメント損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,440百万円増加し、31,762百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加1,673百万円、受取手形及び売掛金の増加1,178百万円等によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,098百万円増加し、16,476百万円となりました。これは主に、短期借入金と長期借入金を合わせた純借入額の増加447百万円等によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,341百万円増加し、15,285百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加826百万円等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月19日付けで公表しました平成26年9月期第2四半期連結業績予想及び通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成26年2月7日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,423	9,097
受取手形及び売掛金	6,890	8,069
製品	366	320
仕掛品	2,017	2,221
原材料及び貯蔵品	582	752
その他	1,204	265
貸倒引当金	60	76
流動資産合計	18,425	20,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,146	4,096
機械装置及び運搬具(純額)	1,723	1,588
その他(純額)	2,038	2,194
有形固定資産合計	7,908	7,880
無形固定資産		
投資その他の資産	955	939
投資有価証券	1,703	1,972
その他	553	550
貸倒引当金	223	230
投資その他の資産合計	2,033	2,292
固定資産合計	10,896	11,111
資産合計	29,321	31,762
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,887	4,712
短期借入金	3,137	3,762
未払法人税等	146	253
賞与引当金	442	413
製品保証引当金	470	575
その他	1,373	1,893
流動負債合計	10,459	11,611
固定負債		
社債	90	90
長期借入金	2,885	2,708
退職給付引当金	1,221	1,270
その他	720	795
固定負債合計	4,918	4,864
負債合計	15,377	16,476

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,018	5,018
資本剰余金	5,769	5,837
利益剰余金	2,364	3,191
自己株式	953	896
株主資本合計	12,199	13,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	841	1,016
為替換算調整勘定	58	4
その他の包括利益累計額合計	782	1,021
新株予約権	217	203
少数株主持分	744	910
純資産合計	13,943	15,285
負債純資産合計	29,321	31,762

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	3,995	8,035
売上原価	3,017	5,031
売上総利益	978	3,004
販売費及び一般管理費	1,427	1,873
営業利益又は営業損失( )	448	1,130
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	1	2
受取賃貸料	13	12
為替差益	20	165
その他	7	4
営業外収益合計	44	187
営業外費用		
支払利息	21	21
その他	5	4
営業外費用合計	27	26
経常利益又は経常損失( )	431	1,291
特別利益		
新株予約権戻入益	30	3
その他	0	0
特別利益合計	30	4
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	401	1,295
法人税、住民税及び事業税	19	190
法人税等調整額	0	9
法人税等合計	19	180
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	420	1,114
少数株主利益	8	98
四半期純利益又は四半期純損失( )	429	1,016



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	420	1,114
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39	175
為替換算調整勘定	0	87
その他の包括利益合計	40	263
四半期包括利益	460	1,378
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	468	1,255
少数株主に係る四半期包括利益	7	123

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2.
	プローブ カード事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,517	478	3,995	-	3,995
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,517	478	3,995	-	3,995
セグメント利益又は損失 ( )	183	275	91	356	448

(注)1.セグメント利益又は損失の調整額 356百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない  
管理部門等に係る費用であります。

2.セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2.
	プローブ カード事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,414	1,621	8,035	-	8,035
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	6,414	1,621	8,035	-	8,035
セグメント利益	1,412	175	1,588	457	1,130

(注)1.セグメント利益の調整額 457百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門  
等に係る費用であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。